

胆江地区緩和ケア研修会について

2007年、がん対策推進基本計画で「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられ、これに従い全国で緩和ケア研修会が開催されています。現在ではがんのみでなく心不全、慢性肺疾患なども対象とし、医師のみでなく広く医療従事者に向けての研修会となっています。痛みをはじめとしたがんに伴って生じる苦痛に対しての基本的な知識・技術・態度の習得、また困ったときには緩和ケアチームなどの他職種チームに相談する必要性の理解を目標とします。

胆沢病院では毎年この研修会を行っており、胆江地区の医師、歯科医師、看護師、薬剤師等たくさんの方々に参加いただいております。指導には、岩手県内で緩和医療に力を入れている医師や緩和ケア認定看護師・がん化学療法認定看護師に協力をいただきまして、より現場に即した、明日からの診療にすぐ使える内容の研修を目指しています。

平成30年度の研修会は11月18日に行われました。参加者は17名（医師9名、看護師7名、薬剤師1名）でした。昨年度までは2日間の日程でしたが今年度よりカリキュラムが変更となり、e-learningを事前に受講することで1日に短縮されました。ワークショップを中心とした内容で、職種を超えて活発な意見交換が行われました。患者側の立場から、岩手ホスピスの会代表の川守田祐二さんをお願いし、がん闘病のつらさ、苦しさ、またホスピスの会で目指していることのお話をいただきました。

来年度以降も同時期に開催の予定となっております。時期が近くなりましたら各医療機関に連絡致しますので、まだ参加したことのない医師はもちろん多職種の方の参加をお待ちしております。

麻酔科ペインクリニック科長 加藤 幸恵

写真は平成30年度参加者の集合写真です。当院へリポートで撮影しました。



ゆきんこ祭り



当院初の院内レクリエーションを開催しました

去る11月27日、胆沢病院として初の院内レクリエーション行事『ゆきんこ祭』を開催致しました。看護科と認知症ケアチームの共催で、対象とした入院中の高齢患者様とご家族計20名ご参加いただきました。

認知症者や高齢者にとって入院は、環境の変化や生活リズムの変化などによるストレスが生じやすく、認知機能低下や睡眠障害を招くことがあります。また、入院前の日課やデイサービスの利用などから切り離されることで、療養生活での“楽しみ”が少なくなります。そこで胆沢病院では、各病棟でいくつかのアクティビティを用意し、普段のケアに取り入れています。『ゆきんこ祭』は、院内でのふれあいの場の提供と、病棟では実施困難な“生の音”を感じられるアクティビティにより、楽しくリフレッシュを図ることを目的としました。

会場は、飾り付けした大会議室。まずは、福田感染管理認定看護師による二胡演奏、伴奏は氏家退院調整看護師で「花は咲く」「ふるさと」をみんなで一緒に歌いながら優雅な音に聴き入りました。次に、畠山総看護師長率いる看護師会によるスコップ三味線の披露、「浪花節だよ人生は」に合わせたスコップの音を体感しました。最後はみんな一緒に「青い山脈」「ラジオ体操」で体を動かししました。参加された患者様からは、「嬉しすぎて泣いた。楽しかった」「スコップ三味線？あれは大したもんだね」などご好評いただきました。患者様・ご家族みなさんが笑顔で楽しんでいただばかりではなく、私たちスタッフにも笑顔があふれ、とても心が暖かくなりました。

今後もこのような催しを企画し、少しでも楽しみをもちながら安心して入院生活を送れる環境を提供していきたいです。

認知症看護認定看護師 及川 聡美



みんな一緒にラジオ体操



看護師会によるスコップ三味線



二胡演奏 福田感染管理認定看護師 伴奏 氏家退院調整看護師

新任医師の紹介

平成30年12月1日付



臨時医師（外科）

なかむら あきら
中村 暁

診療科名 外科
趣味 スキー
ひとこと 地域の皆様に貢献できるように頑張ります。



(写真左から) 門口 美香 那須川 和恵

部 署 紹 介

入院支援センター

主任看護師 那須川 和恵

入院支援を開始しました

平成30年10月から地域医療福祉連携室に専ら入院支援を行なう看護師が配属され、それに伴い入院支援センターを開設しました。

入院支援とは、入院が決まった患者さんとその家族に対し、入院前に入院生活の説明や入院に必要な情報の聞き取りなどを行い、医療上・生活上の課題を明らかにし、入院への不安点や疑問点に入院前から対応し支援するものです。患者さんが安心して入院生活を送れるように支援して参ります。

感染管理認定看護師 福田さんからバトンタッチ!

ひとからひとへ

職名:医療安全管理専門員
出身:奥州市江刺
経歴:平成3年医療局入局 県立胆沢病院勤務
平成30年度より医療安全管理専門員
趣味:温泉巡り



こまつ やすかつ
小松 康克

- Q. 医療安全管理専門員とは
- A. 入院基本料における医療安全対策の推進を評価され、その施設基準として医療安全管理者の配置が基準の一つとなっています。それには医療安全対策加算に係る研修を終了した専任の看護師、薬剤師などが医療安全管理者として配置されています。
- Q. 医療安全専門員の役割はどのようなものですか？
- A. 患者さんに安全で適切な医療を提供できるように推進することと、病院の職員が安全に仕事ができるよう環境を整える事が自分の役割です。そのために院内ラウンドや医療安全研修会を企画したりしています。
- Q. 医療機関へひとことお願いします。
- A. 今年度の診療報酬改定では医療安全対策地域連携加算が新設されました。これは各病院単独で行っていた医療安全対策を、地域の病院が情報を共有し連携していくことを評価するものです。現在地域の病院と連携を図っていますが、病院のみならず介護施設との情報も共有していきたいと思っていますので、何か困ったときには気軽にお問い合わせ下さい。

